

1.計画名称

農業振興ビジョン

2.計画全体の進捗状況及び総合評価

進捗評価	おおむね順調	説明	(R4・総括評価共通)農業担い手の高齢化や減少する中、また、資材等の価格が高止まりの状況の中で、機械購入補助や生分解性マルチ補助については、高い評価をいただき、営農継続に寄与している。また、機械レンタル補助についても、多様な担い手の確保育成につながっている。さらに、新規就農者については、5年間で15名の方が新規に就農された。集落営農組織の設立については、数件の相談はあるがコロナの影響もあり、設立には至っていない。
今後の重点化施策番号	1	説明	担い手の高齢化や減少がさらに進み、それに伴って遊休農地等の拡大が予想される状況である。今後も農業者や果及び関係団体と連携し補助金等の活用や支援を行い、農業経営体の確保と併せ、多様な担い手の確保、並びに既存農業者の営農継続が可能な取組の継続が必要と考えます。

3.各施策等における評価内容と改革改善

区分	施策名称	進捗評価	総合評価		改革改善の具体的内容
			主な取組内容や成果	課題	
1	農業経営体の確保・育成(1)	順調	(R4・総括評価共通)認定農業者に対して農業用機械等の購入補助事業と農業研修生に対する研修費補助事業を行っている。機械補助は、事前に予備調査を行い予算範囲内での執行に努めた。事業については、農業関係者から高い評価を得ている。	(R4・総括評価共通)集落営農組織の設立に向けて泉野地区から相談があった。法人設立を目指しているが、主体となる経営者の存在が必要となる。	農業用機械等の購入補助については予算編成前の事前要望調査を行うことにより、予算内の執行を行うこととしている。特に問題はなく推移している。集落営農は新規設立を目指すよりも今ある組織の継続及び発展に力を入れていく段階に来ている。
2	農業生産力の向上(2)	順調	(R4・総括評価共通)認定農業者に対して農業用機械等の購入補助事業を行うことで、経営体の確保育成と共に農業生産力の向上に対しても支援が行っている。各関係機関からの評価も非常に高い	(R4・総括評価共通)資材価格高騰の中であるが、生分解マルチは作業の効率化や環境への配慮も見込まれ注目度は高まっている。広く多くの農業者へ支援のが図れるようJAと仕組みの検討を図る。	検討を行ってきたカットドレーンの導入を行った。今後は、5年に一度の水張りへの対応も考え農業者へヒアリングを行い、JAと検討し、需要が高く必要とする機械の導入を検討する。
3	優良農地の保全と活用(3)	おおむね順調	(R4・総括評価共通)用水路等の施設の改修や改良の要望は多く、重要度や劣化度の優先順位をつけて、対応している。温田対策は、昨年より減少し2.6haの温田解消となった。鳥獣被害対策事業では防護柵の設置300m(北大塩区)を行った。	(R4・総括評価共通)ほ場整備で同時期に広範囲地区を整備したため、耐用年数が経過した施設が多い。予算の範囲内で事業実施は年々困難な状況になってきている。広域防護柵の計画的な設置及び補修箇所の整備が必要な時期が来ている。	令和5年度から、工事費についても補助対象とし、温田解消を推進していく。また、令和7年度からは、今後策定される地域計画を基に国庫の補助事業である耕作改善事業を活用していきたい。

※5つ以上の場合は裏面へ

4.関連市民団体等の主な意見及び対応のポイント

		主な意見	市の考えや対応など
関連市民団体等名称		<p>数年前から農業に関する国の制度が大きく変わっている。国の制度変更をしっかりと収集し、ビジョンに反映してほしい。また、農業振興ビジョンに掲げた推進事業や取組を農業者にわかりやすく、具体的な内容に見直すことが必要と考える。</p>	<p>機械購入補助や生分解性マルチ購入補助等については、農業者等の受益者から高い評価をいただいている。しかし、農業振興ビジョンについては、方針等の記載により具体的な記載ではないため、方針に紐づく支援内容に記載等、次期農業振興ビジョンについては、受益者にわかりやすい記載方法の検討をしていきたい。</p>
農業委員会			
開催回数	1		
参加延べ人数	18		
関連市民団体等名称			
開催回数			
参加延べ人数			
関連市民団体等名称			
開催回数			
参加延べ人数			